

2022年7月1日
第553号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

改憲ノー！立憲主義を取り戻す！ 6・5オール埼玉総行動大集会

6月5日(日)に「立憲主義を取り戻す！戦争させない！9条こわすな！6・5オール埼玉総行動」が開催され、北浦和公園で開かれた中央集會に1500人が参加しました。また、同日に衆議院の選挙区を基本に県内各地域で集會や駅頭宣伝、パレードなどがとりくまれました。

主催者あいさつで、小出重義実行委員



北浦和公園に1500人

長は「歴代の政権は憲法9条に基づく平和外交をやってこなかった。7月の参議院選挙では、『改憲ノー』の大きな声をあげよう」と強調しました。後援団体からは、埼玉弁護士会の白鳥敏男会長、連合埼玉の平尾幹雄事務局長、埼労連の戸出事務局長が激励と連帯のあいさつをしました。

ゲストスピーカーとして、現代教育行

政研究会の前川喜平代表がスピーチし、現岸田政権や維新など補完勢力の危険な思想の問題を指摘し、「今こそ『教え子を戦場に送るな』という言葉をかみしめなければ。憲法を破壊する勢力に対抗するため、意見の違いを乗り越えて手をつなごう」と力強く呼びかけました。

政党からは、立憲民主党の小宮山泰子衆議院議員、社民党の福島瑞穂党首、日本共産党の塩川鉄也衆議院議員が、それぞれの立場であいさつし、「参議院選挙で市民と野党の共闘に賛同する候補を勝利させ改憲勢力へ審判を下そうと」訴えました。

集會終了後は、北浦和公園から浦和駅東口までパレードを行いました。



オープニングで合唱



スピーチする前川喜平さん

* 紙面から *

- 6・5オール埼玉総行動 (1面)
- 各組織のとりくみ (5面)
- 参議院選挙特集 (2面)
- 非正規全国集会 (6面)
- グローバルアクション (4面)
- 埼労共のページ (8面)

働きがいのある社会の実現、平和と暮らしをまもる政治へ転換するため

選挙にいこう!

6月22日公示・7月10日投票で参議院選挙が行われます。

今回の選挙は、「このまま新自由主義を継続し、「戦争できる国」に突き進むのか、働きがいのある平和で民主的な政治に転換するのかが問われる大事な選挙です。過去5回の選挙を見ると、投票率があがれば政治が転換できることが示されています。大切なのは有権者が投票という権利を行使し、政治に参加することです。投票にいつて政治を変える第一歩を踏み出しましょう。

総選挙年	投票率	比例・自民絶対得票率	自民獲得議席率
2009年	69%	18%	24%
2012年	59%	16%	61%
2014年	52%	17%	61%
2017年	53%	17%	60%
2021年	55%	19%	56%

2022年7月参議院選挙 全労連要求と主要政党の選挙公約

	最低賃金	消費税	原発	核兵器禁止条約	敵基地攻撃能力	公立・公的病院統合	憲法	選択的夫婦別姓導入
全労連要求	全国一律時給1500円	5%に減税、インボイス制度中止	原発ゼロ	署名・批准	反対	反対	9条改憲反対/いかす	導入
立憲民主党	段階的に1500円	○	○	○	○	○	○	○
日本共産党	全国一律1500円	○	○	○	○	○	○	○
社会民主党	全国一律1500円	○	○	○	○	○	○	○
れいわ新選組	1500円	○	○	○	○	○	○	○
国民民主党	全国一律1150円以上	×	○	×	×	×	×	○
日本維新の会	言及なし	×	△	×	×	×	×	×
自民党	加重平均1000円以上	×	×	×	×	×	×	×
公明党	加重平均1000円超	×	×	×	×	×	×	○

*公約の評価(○△×)は全労連要求並びに市民連合と4党が合意した政策を基準に全労連が評価したものです。なお、言及がない場合は、要求が公約されていないと判断し、×と評価しました。

時給1500円はせいとくしゃない! グローバルアクションin埼玉

オール埼玉総行動の集会が行われた6月5日(日)昼の12時30分から、民青同盟埼玉県委員会や埼玉連青年委員会、個人でつくるグローバルアクションin埼玉実行委員会が浦和駅東口で「時給1500円はせいとくしゃない」とアピール行動をしました。

オール埼玉のパレードに参加した埼玉連加盟の医労連、コープネットグループ労組、埼玉土建、全労連・埼玉ユニオン、埼玉教と、午前中の会議から駆け付けた民青



青年が訴え



パンダもとびいり参加

同盟の青年や次世代層の仲間48人が集まり、交代でマイクを握り自分たちの青年の働き方などの現状を訴えながら、グローバルアクション用に作成した最賃1500円を求めるチラシやティッシュを配りながら、「最低賃金は時給1500円に」などを元気にアピールしました。

また、「ロシアのウクライナ侵略反対」、「青年や非正規労働者の働き方を改善しよう」、「7月の参議院選挙で政治を変えよう」なども一緒にアピールし、元気になる行動となりました。

敵基地攻撃論の危険性を学習

北足立南部地区労は5月26日(木)午後6時30分から地区労事務所をメイン会場に、4会場をオンラインでつなぎ、先制攻撃、全面戦争に道をひらく「敵基地攻撃」論の危険性を考える学習会を開催し、35人が参加しました。

講師は埼玉県平和委員会の二橋元長さんにお願いしました。二橋さんは、ロシアのウクライナ侵略を利用して自民党や維新の会などが核共有論や軍備増強を主張、憲法改悪を企んでいると指摘。そして、攻められることを察知した場

合に先制攻撃する、「やられる前にやってしまえ」という敵基地攻撃論の危険性、防衛費増額の狙いを話しました。続いて、今の日本は戦争を回避するためどう動くべきかと言及。ASEANの小さな国10カ国が努力して東南アジア友好協力条約をつくり、アメリカ、中国、ロシア、日本、韓国やヨーロッパなどの国々も加入。その基本原則は「武力による威嚇または行使の放棄」、「紛争の平和的手段による解決」で、戦争の放棄を定める日本国憲法を実践して



オンラインで学習

いること、日本が今こそ日本国憲法の精神を大切に実践することが大事と強調し、学習会を終了しました。

(北足立南部地区労発)

全国一律最賃の実現を訴え

草加八潮地区労協は5月26日(木)の午後5時30分から6時30分までの1時間、草加駅東口で全国一律最低賃金制度の実現を求める宣伝行動を行いました。

はじめは地区労協役員など4人でスタートしましたが、すぐに土建草加支部・八潮支部、草加市職労の仲間が到着し、10人での活動になりました。最賃チラシ、非正

規差別やめてチラシ、組合に入ろうチラシ等を入れたティッシュを用意し、約250個配りました。役員が交代で弁士も務め、署名の訴え、非正規問題、さらに「選挙に行こう!」など、それぞれが工夫した宣伝を行いました。「最賃は1000円」の横断幕を見て立ち止まり、説明を求めてきた外国人労働者グループと対話し

ました。日本語、漢字がよく分からないとのことでしたが、チラシを写メしたり、内容を理解しようとしてくれました。

6月、7月、8月それぞれ月末の水曜日、草加駅、獨協大学前駅交互に、執行委員を中心に夕方1時間の最賃宣言を実施します。宣伝は集まれば元気が出ます、反応があればもっと元気になります。

(草加八潮地区労発)

参議院選挙に向け幹部学習 28会場に401人参加 (埼玉土建)

埼玉土建では、新年度の学習活動について、「情勢と役員役割については支部で学習をすすめる」「各専門分野の学習については各専門部の会議ですすめる」と整理してきました。しかし、岸田政権による国民の暮らしやいのち、そして平和をもちえりみない政治運営をふくめ、より混迷を極める情勢のなかで、仲間の先頭に立ち、そして仲間とともに奮闘する幹部活動家が何よりも求められていること、インターネットを活用し、全県を対象としたつどいも比較的容易にできるようになった



五十嵐仁さんの講演

こと、そして来るべき参院選勝利に向けて、役員学習がいま本当に重要だということから、全県の幹部を集めた学習会・全県幹部労働講座を6月8日(水)、本部会館と全県28の会場をオンラインで繋いで開催、全支部から401人の仲間が参加しました。



オンライン会場の様子

午前中は、法政大学名誉教授の五十嵐仁氏が講演を行いました。五十嵐氏は講演の中で「ロシアによるウクライナ侵略を通じて、ロシアではフェイクニュースが報道されている。私たちは情報を読み解く力、真実を見極める力が必要となっている」と指摘。岸田政権の危険性や、憲法闘争と今回の参院選の意義などを話し「いま、憲法の理念を実現する政府をつくることが求められている。そのためにも野党は共闘していかなければならぬ」と訴えました。また「今日の学習会のように、学ぶ場をつくることは非常に重要。私たちは学び、それを発信していかなければならぬ。知識を身に付

け、SNSなども通じて訴えていこう」と力強く呼びかけました。午後は①憲法・平和、②社会保障、③環境問題、④経済問題の分科会で学習を行いました。

参加した仲間からは、「今の情勢をどの角度から見ても腐りきっていることがよくわかった」「ウクライナ侵略をタシに9条改憲に突き進む政権にノーを突きつけなければと思った」などの感想が寄せられました。分科会終了後は、あらためて全体会を行い「間近に迫った参議院選挙において、多くの仲間とより良い社会の実現をめざして、それぞれの立場で様々な方法で奮闘することをお願いする」ことを全体で確認しました。

参加者にはパワーポイントの原稿を配布して見てもらいながら、

鴻北労連が宣伝

6月13日夕方、鴻巣北本地域労働組合連合会は北本駅前で「全国一律最低賃金を1500円に」「大幅賃上げで、生活と地域経済を守ろう」などの宣伝行動を15人が参加して取り組みました。宣伝ではロシアの侵略戦争に反対し、ウクライナへの支援も訴えました。



北本駅前宣伝

この日の「お帰りなさい宣伝」では200組のチラシとティッシュを配布し、『コロナ禍での消費税の引き下げや労働相談はお気軽に』と相談ください』などと呼びかけました。鴻北労連では、毎月宣伝行動を取り組んでいます。

深谷寄居地域労連が選挙学習

深谷寄居地域労連は6月13日(月)午後6時30分から深谷市パティオ会議室で幹事会を開催、7組合から7人が参加しました。

この日は、1カ月の経過報告、各労組からの活動報告をするとともに、埼労連がつくった参議院選挙学習資料で須藤事務局長が報告しました。

さらに、7月に迫った参議院選挙の争点などを紹介し、組合員が選挙に行き、「みんなで政治を変えよう」と職場でも訴えることをお願いしてまとめました。

須藤事務局長が、物価高騰などで大変になっている国民の暮らしと政治について、国民が選挙で意思を表明する大切さを報告しました。

総会で公的医療について学習 働くもののいのちと健康を守る埼玉センター

5月27日(金)に、第23回働くもののいのちと健康を守る埼玉センター総会が、埼玉総合法律事務所3階会議室で開催されました。

加盟団体17団体中10団体が参加、7団体が委任状、個人会員7人中3人が参加、1人が委任状で、総会が成立し無事に終了することができました。

総会では、第一部記念講演で、NPO法人医療制度研究会の本田宏副理事長より「公的医療削減の今、ウクライナ戦争が社会保障に

与える影響を考える」と題した講演を受けました。

講演では、日本は民間病院が80%で、公立・公的病院が20%と極端に少ないが、イギリスやフランスでは、ほとんどの病院が公立・公的病院で、今回のコロナ禍において公立・公的病院の全病院・病床数に対する割合が少ない都道府県で死者が多発していること、実は新型コロナウイルス感染では、コロナ確保病床数の全国上位は、東京都立と公社病院が占めているが、すでに

府立病院が独法化された大阪では、コロナ病床の確保数が少なく、死者数増加に影響した可能性が高いこと、このような問題をメディアに伝えようと働きかけたがテレビからの出演依頼がほとんど来ないことなどを報告されました。日本で公的病院が少ない理由は、明治から日本政府は公的医療を財政難で切り捨てる国だったからです。明治10年の病院数は、官立・公立が71、私立が35でしたが、明治21年には官立・公立が2



オンラインで講演

25、私立が339と、私立病院が逆転しており、それは西南戦争後の激しいインフレと厳しい地方財政のため、公立病院の多くは廃院され、公立病院よりも私立病院の方が多くなったこと、政府が医療の予算を削減しようとする姿勢は戦後も変わらなかったことなどが報告されました。

総会では、4団体から、労働安全衛生、ハラスメント調査などについて報告があり、新年度方針や役員が確認されました。埼玉連からは、加藤幹事が事務局次長に選出されています。

JMITU 夏季一時金闘争

JMITU埼玉地本は、夏季一時金統一回答指定日6月1日の翌日2日(木)午後7時から、さいたま市下落合コミュニティセンターで22夏季闘争勝利決起集会を開催し、7支部分會12人が参加しました。

埼玉地本は5月25日を夏季一時金統一要求日に設定し各支部で要求、2日の決起集会には各支部が

回答を持ち寄りしました。

決起集会は冒頭、泉田委員長が「コロナ禍や、ロシアによるウクライナ侵略で物価高騰が止まらない。玉ねぎも通常の倍近い価格。カレーライスから玉ねぎがなくなってしまう。生活悪化を前面に交渉を続け、さらなる上積みさせよう。同時に絶対に軍事対軍事にさせてはならない。参議院選挙で私たちの要求と一致する候補者、政党に投票しよう」とあいさつしました。地本の単純平均で73万6734円(2・359ヵ月)という初回答で、各支部からの報告では、芝浦電子99万4670円、東京セキスイハイム80万5000円、サンウエーブ79万4600円と昨年を上回っています。2期連続赤字の日信工業でも春闘の頑張りもあって47万2070円と昨年同時期を6万円も上回りました。

多くの支部が昨年の夏季一時金の最終回答を上回る金額を引き出すことができましたが、参加者から「物価高で春闘の賃上げが吹っ飛んでしまった」、「一時金は生活費の一部」、「会社は利益を上げていっているから次回交渉で上積

みを迫る」などの決意が出され、要求額からはまだ程遠く、あきらめず粘り強くたたかおうとの決意がみられました。

赤坂書記長から今後の闘争方針が提起された後、高比良副委員長の閉会あいさつ、泉田委員長の「団結がんばろう」で決起集会を締めくくりました。

埼玉連・埼玉春闘共闘では、各組合の22春闘・夏季一時金闘争の情報を集約しています。春闘・夏季一時金闘争に関する結果やニュース等を埼玉連までメール・FAXで寄せてください。



一時金アップへ団結

22年度奨学生が600人に 引きつづきサポーター募集

埼労連でも案内してきたコープみらい財団の給付型奨学金事業で2022年度に採用された奨学生が600人(前年362人)になりました。

コープみらい財団では、2018年度から、コープみらいの組合員でひとり親家庭などの世帯に対して、月1万円の奨学金(返済不要)の支給を行っています。

2022年度は500人で募集されましたが、サポーター登録が伸びたこともあり、1000人多い採用が実現しています。奨学金を受け取っている奨学生や保護者から近況を報告する感謝の声が多く寄せられています。

一方で、希望者のうち約4割の方は採用することができません



奨学生から感謝の声



した。コープみらい財団では、さらに採用枠を増やすため、引き続き応援サポーターの募集をしています。コープみらいの会員であれば誰でも参加できますので、事業への賛同と協力をお願いします。興味のある方は「コープみらい財団」のホームページをご覧ください。仲間への周知も合わせてお願いします。

7月の上映案内

7月の上映は中国映画「山の郵便配達」です。1980年代初頭



の中国湖南省の山間地帯で郵便配達する父の姿に接した息子が、尊敬の念と仕事への責任感を深めていく物語です。

大自然を背景に家族の絆を描いたこの映画は1999年中国金鸡賞最優秀作品賞ほか多数の賞を受賞。日本映画ペンクラ

大自然を

背景に家族

の絆を描い

たこの映画

は1999

年中国金鸡

賞最優秀作

品賞ほか多

数の賞を受

賞。日本映

画ペンクラ

全労連共済より

全労連共済の制度が一部改定になります(2023年1月施行)。

全労連共済は、組合員の要望に応えてより利用しやすくなりました。主な点は①「火災共済」に地震等共済金を設定。②「組織生命」「組織医療」加入年齢70歳未満など(詳しくは埼労連までお問い合わせください)。

「節約しながら、もしもの備え」共済利用を考えてみては!

フードバンク

第73便

埼労連の5月中旬から6月前半にかけてのフードバンク活動は、熊谷地域労連から調味料、SUから菓子類、玄米などの提供があり、第73便としてフードバンク埼玉の窓口・埼玉労協に6月7日(火)に届けました。今回の総量は6・85キログラムでした。

いつものように玄米はフードバ

ンク埼玉に大変喜ばれています。



フードバンク73便

72001年度外国映画部門ベストワンにも輝き、岩波ホールでは154日間すべて満席となるなど、アート・シアター系劇場での日本記録を達成した作品です。

日時 7月26日(火)

①10時30分 ②14時

③18時30分

場所 埼玉会館 小ホール

埼労共の専用入場整理券利用で900円でご覧いただけます。

お問い合わせは埼労共まで

048-838-0771

(担当・山崎)